

令和 5(2023)年度 学校関係者評価報告書

作成日：令和 6（2024）年 3 月 31 日

学校法人 桑沢学園
専門 桑沢デザイン研究所
学校
〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-4-17

専門学校桑沢デザイン研究所 学校関係者評価報告書について

専門学校桑沢デザイン研究所学校関係者評価は、デザイン関連業界等関係者、卒業生、教育に関し知見を有する者、学識経験者・地域支援者を委員として選任し、本校が実施した自己評価結果に関する評価をおこなって頂いている。現状における課題について助言を得る貴重な機会としても位置づけ、必要な改善、学校運営や教育実践力等の向上に役立てることとする。根底に本校が従来から伝統的に取り組んできたものについてその価値を見極めて頂き、今後も継続できるよう客観的に評価して頂いた。

1. 実施日時

令和6年3月27日

2. 実施場所

専門学校桑沢デザイン研究所 事務室

3. 実施組織

学校関係者評価委員会

○評価委員：

野村 太郎 委員長：株式会社スタイルメント代表取締役

磯村 歩 株式会社フクフクプラス代表取締役

佐藤 裕介 株式会社メルカリ

杉本 一二 神南宇田川町会 会長

山廣 茂夫 元神奈川県立高等学校教諭他

(50音別 敬称略)

4. 学校自己評価報告書について

(a)評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(b)評価項目：次の10項目について実施

項目1 教育理念・目的・人材像

項目2 学校運営

項目3 教育活動

項目4 学修成果

項目5 学生支援

項目6 教育環境

項目7 学生の募集と受け入れ

項目8 財務

項目9 法令等の遵守

項目10 社会貢献・地域貢献

(c)評価項目に対する評価

4段階評価で点数評価した。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

5. 学校関係者評価報告書の作成について

上記の学校自己評価報告書を基に、評価委員毎に各項目について確認の上意見をご提出頂いた。ご提出頂いた意見、提案事項について項目ごとに以下の様にまとめた。

項目1 教育理念・目的・育成人材像

教育理念・目的・人材育成像	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
2. 育成人材像は専門分野に関する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	③	2	1
3. 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	④	3	2	1
4. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1

【評価の概要と今後の課題】

本校の教育理念は創立以来 69 年間一貫しており、人材育成、教育課程の内容とも一致している。教職員及び学生も、理念・目標について理解できている。デザインの役割とそれを取り巻く環境の変化を踏まえながら、教育理念に基づいたデザイン教育を実践し、時代をリードするデザイナーを育成するための検討を更に推し進めていくことが重要である。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・ 全体として評価項目が 10 もあって多すぎないか。もう少し項目を絞り、それぞれの評価およびその根拠だけに絞った方が、外部にはわかりやすい。

項目2 学校運営

学校運営	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 理念等に沿った運営方針を定めているか	④	3	2	1
2. 理念等を達成するための事業計画を定めているか	④	3	2	1
3. 設置法人の組織運営を適切に行っているか	④	3	2	1
4. 学校運営のための組織を整備しているか	④	3	2	1
5. 人事・給与に関する制度を整備しているか	4	③	2	1
6. 意思決定システムを整備しているか	④	3	2	1
7. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

【評価の概要と今後の課題】

本学園が策定した「桑沢学園 中期計画(Road to 2025:2021-2025)」の基本指針に基づき本校の事業計画を定め、単年度ごとに各実施項目の実行に努めながら適切に運営されている。学校運営に関わる審議事項及び意思決定は、所長及び副所長が主催して運営協議会を統括し、教育活動及びそれに付随する諸活動に関する審議事項は教務主事により教員会議、各種委員会を統括している。事務部門は事務局長を中心とし、部課長会議を開催して情報を共有している。月に一度開催する教員会議は、全教員が出席して、学校運営に

対する意識の高い意見が交わされている。

平成 31(2019)4月より施行された働き方改革関連法への対応のため服務規程を整備し、労務管轄部署を中心に適正な管理を図っている。

学校運営の充実を図るため、「教職員相互の理解」「目標・方針の共有や一致」を目指して、教職協働を進めていく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・ 今年は前年とは違った学校運営の工夫をしたか、それに関する自己評価とその根拠があれば十分だと思う。

項目3 教育活動

教育活動	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1. 理想に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	④	3	2	1
2. 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	④	3	2	1
3. 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	④	3	2	1
4. 教育課程について外部の意見を反映しているか	4	③	2	1
5. キャリア教育を実施しているか	④	3	2	1
6. 授業評価を実施しているか	4	③	2	1
7. 成績評価・修了認定基準を明確化し適切に運用しているか	4	③	2	1
8. 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④	3	2	1
9. 目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけているか	4	3	②	1
10. 資格・免許の指導体制はあるか	4	3	②	1
11. 資格・要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
12. 教育資質向上への取り組みを行っているか	4	③	2	1
13. 教員の組織体制を整備しているか	④	3	2	1

【評価の概要と今後の課題】

社会のニーズを踏まえたクオリティの高い教育を展開していくためには、教員は校外での研修や、学生及び卒業生の意見を収集する仕組みも重要である。

令和 4(2022)年度より授業改善アンケート実施を開始した。回答率向上を目指すとともに、実施後の分析や活用方法について、結果を授業の改善に結び付ける組織的な取り組みを引き続き進めていく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・ 「9. 目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけているか」「10. 資格・免許の指導体制はあるか」の自己評価がいずれも「2」のままとなっているが、なぜ「2」となっているのかがわからず、目標や改善方法についても言及がない。学校として PDCA サイクルにのせているのかどうか不明である。
- ・ 全ての項目について、評価を上げていくことは実際には困難である。重点項目を 3～4つに絞ったうえで、もっと簡便に取り組んでいくべきである。

- ・ 評価と文章の連動性が低い。この文章でなぜこの評価なのかがわからない。

項目4 学修成果

学修成果	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
2. 資格・免許取得率の向上が図られているか	4	3	②	1
3. 卒業生の社会的な評価を把握しているか	④	3	2	1

【評価の概要と今後の課題】

学生の就職活動を支援するためには、卒業生や企業と連携して、学生に就職への意識を高められる環境を提供できるよう、教職協働の取り組みとして組織的に進めていくとともに、新たな企業開拓や信頼関係の構築に努めていく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・ 「2. 資格・免許取得率の向上が図られているか」について自己評価が「2」となっているが、桑沢デザイン研究所の学生はそもそも資格ではなく基礎力で評価されるべきであり、他の項目設定を検討すべきではないか。
- ・ 「job/job」を紙面からウェブサイトでの運営に切り替えた経緯について言及がなく、切り替えの事実しか記載されていないのが残念に思える。ウェブサイト化により、学生が取得できる情報の随時更新が可能となるということであれば、自己評価を上げて数字に反映させるほうがよい。
- ・ 桑沢デザイン研究所独自のデザイン資格を作ってはどうか。
- ・ 入学希望者や保護者は、就職率や資格取得率を見て桑沢デザイン研究所を志望した訳ではないと思う。そこだけで勝負する専門学校とは違う教育理念を持った桑沢デザイン研究所の長所をアピールする評価基準が欲しいところ。

項目5 学生支援

学生支援	適切:4、ほぼ適切:3、やや 不適切:2、不適切:1			
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
2. 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
3. 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
4. 留学生に対する相談体制を整備しているか	4	③	2	1
5. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
6. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
7. 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	4	③	2	1
8. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
9. 保護者と連携体制を構築しているか	4	③	2	1
10. 卒業生への支援体制を整備しているか	④	3	2	1

11. 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	3	②	1
12. 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	④	3	2	1

【評価の概要と今後の課題】

経済的に厳しい世帯の学生が安心して学べるよう、令和2(2020)年4月から始まった高等教育の修学支援制度の修学支援の対象校として、令和3(2021)年度に認定を受け、現在もなお認定を受けている。

学生の学修支援には、保護者と情報共有と連携が重要だと認識しているため、学校行事や諸手続きの情報や修学の成果である成績について、提供していく体制を検討している。

退学率低減のため、進路選択時のミスマッチはないか、退学理由を基にそれを少しでも排除することはできないかなど、情報を収集して、教職協働の取り組みとして組織的に進めていく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・ 退学率、志願者数が気になる情報であるが、数字として重要な情報が自己評価報告書の中で公開されていない。掲載することに学校運営上の支障があるということであれば掲載しないという選択肢もありうる。自己評価について、数字に基づいた分析的な理由づけがなされるとよい。
- ・ 近年、メンタル不調で登校できない学生が増えてきており、支援の手立てが記載されているとよい。
- ・ job/job や留学生への支援などは、昨年とは異なった取り組みかと思った。学校として退学を減らそうと努力していることはよくわかったので、もう少し自己評価をよくしても良いのではないかな。

項目6 教育環境

教育環境	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1. 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	③	2	1
2. 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	③	2	1
3. 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1
4. 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1

【評価の概要と今後の課題】

学生が自主制作を行う作業スペースや、昼食や休憩をとる共有スペースが不足している。授業時間割上の科目開講曜日・時限の調整により、授業で使用しない教室を確保できないか検討していく。

また、現校舎の運用開始から19年が経過したので、計画的な修繕を開始している。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・ 「教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか」について、自己評価は「3」ではなく「4」でもよいのではないかな。学校の跡地に新たな校舎を整備したことは、今年度の教育環境整備の目玉の一つではないかな。

項目7 学生の募集と受け入れ

学生募集受け入れ	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	④	3	2	1
2. 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4	③	2	1
3. 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	④	3	2	1
4. 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	③	2	1
5. 経費内容に対応し学納金を算定しているか	4	③	2	1
6. 入学辞退者に対し授業料等について適切な取り扱いを行っているか	④	3	2	1

【評価の概要と今後の課題】

学生募集活動は、おおむね適正に行われている。総合デザイン科(昼間部)と専攻デザイン科(夜間部)の入学希望者層が異なり、それぞれ受験生の入学に関する不安の解消と疑問に答えるため、総合デザイン科(昼間部)と専攻デザイン科(夜間部)のランディングページを作成し、ターゲットを設定した広報活動を展開している。また、令和3(2021)度は専攻デザイン科(夜間部)のカリキュラムを改編し、社会人が求めている専門教育の充実と修学環境の整備を行った。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・ それぞれの自己評価の数字について、数字データをもって評価をしているのかが不明である。
- ・ 入試倍率がいくつであれば適正と評価できるかなど、自己評価の基準が記載されていない。
- ・ 外から見て桑沢デザイン研究所のブランド力は健在である。だが、油断はできない。近年、十代のファインアート系大学への志望者も少しずつ減少し、その代わりキャラクターデザインやマンガ・アニメ系への志望者が増えている。高校の美術科教員の全国研究大会や主要美術予備校などへの働きかけは今後もある必要があると思う。

項目8 財務

財務	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 学校及び法人運営の中期的な財務基盤は安定しているか	4	③	2	1
2. 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	④	3	2	1
3. 教育目標との整合性を図り単年度予算、中期計画を策定しているか	④	3	2	1
4. 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	④	3	2	1
5. 私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	④	3	2	1
6. 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し適切に運用しているか	④	3	2	1

【評価の概要と今後の課題】

本学園は、学校教育法や私立学校法等をはじめとする関係法令を遵守し、「学校法人桑沢学園 寄附行為」に基づき、理事会、評議員会、監事を設置し、相互チェックによる管理体制を整備している。財務においては、基本金組み入れ計画及び資産運用による収入を確保することで、安定的な財務基盤を確立している。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・ 全体として記述の分量が多く、自己評価の項目と数字評価だけでもよい。
- ・ これは学校内部のことであり、学校評価として対外的に評価を出さなくても良いのではないか。

項目9 法令等の遵守

法令等の遵守	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 法令や専修学校設置基準を遵守し適正な学校運営を行っているか	4	③	2	1
2. 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	③	2	1
3. 自己評価に実施体制を整備し評価を行っているか	④	3	2	1
4. 自己評価結果を公表しているか	④	3	2	1
5. 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	④	3	2	1
6. 学校関係者評価結果を公表しているか	④	3	2	1
7. 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	③	2	1

【評価の概要と今後の課題】

法令等の遵守関連省庁への届出をはじめ、適正な運営に努めている。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・ 「3. 自己評価に実施体制を整備し評価を行っているか」「5. 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか」については、学校としてのPDCAサイクルが見えないので、「4」ではないのではないか。
- ・ 法令等を遵守しない学校などありえず、評価基準 9 が全体として不要なようにも思える。

項目10 社会貢献・地域貢献

社会貢献・地域貢献	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
2. 国際交流に取り組んでいるか	④	3	2	1
3. 学生のボランティア活動を奨励、具体的な活動支援を行っているか	4	3	②	1

【評価の概要と今後の課題】

本校では、デザイン教育の独自性及び特徴を明確にし、その機能を最大限に発揮するために、社会連携・貢献の強化及び国際交流の推進を事業計画の重点項目として掲げている。平成29(2017)年には、社会に向けた教育事業の発信及び振興促進を目的として、「クワサワ・クリエイティブ・ハブ協議会」を発足し、イベントやコンペティションの立案、国際交流事業の取り組み、学生ボランティアに関する事項等について審議している。また、渋谷区内の障害者支援施設との協働事業として取り組んだ「シブヤフォント」のプロジェクトに本校学生が参加するなど、学生が社会連携事業に積極的に関わる機会を提供しており、今年度より正科課程の自由選択科目において授業化された。

同協議会は令和 4(2022)年度より委員会化されて企画広報委員会となった。同委員会の活動は、学生の社会性を醸成するとともに、地域社会の課題解決や発展に寄与しており、今後も教育と地域貢献に資する取り

組みを中心とした社会連携のための支援体制の整備と、新たなプロジェクトの実現に向けた検討を進めていく。また、国際交流においては、バウハウス・デッサウ財団との連携を継続し、バウハウスの理念・思想に基づく事業を展開していく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

- ・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているかについては十分な記述があるにもかかわらず自己評価が「3」となっており、何をすれば「4」になると考えているのかが不明である。学校として何を課題として認識し、何をすれば評価が上がると考えているのかが言語化されていない。

6. 学校関係者評価委員の評価結果について

上記報告内容は、学校関係者評価委員として、
妥当な評価であることを確認し、認めます。

令和6年3月31日

専門学校桑沢デザイン研究所学校関係者評価委員会

【学校関係者評価委員会】

委員長(デザイン関連業界等関係者)

野村 太郎〔株式会社スタイルメント代表取締役〕

委員(デザイン関連業界等関係者)

磯村 歩〔株式会社フクフクプラス代表取締役〕

委員(卒業生)

佐藤 裕介〔株式会社メルカリ〕

委員(学識経験者・地域支援者)

杉本 一二〔神南宇田川町会 会長〕

委員(教育に関し知見を有する者)

山廣 茂夫〔元神奈川県立高等学校教諭他〕